

商品名 ルセフィ錠5mg 医薬品基本情報

薬効	3969 その他の糖尿病用剤	一般名	ルセオグリフロジン水和物錠
英名	Lusefi	剤型	錠
薬価	210.70	規格	5mg 1錠
メーカー	大正製薬	毒劇区分	

ルセフィ錠5mgの効能・効果

2型糖尿病

ルセフィ錠5mgの使用制限等

1. 1型糖尿病、重度腎機能障害、透析中の末期腎不全

記載場所	効能・効果
注意レベル	禁止

2. 重症ケトosis、糖尿病性前昏睡、糖尿病性昏睡、重症感染症、重篤な外傷、手術前後、本剤成分又は含有成分で過敏症の既往歴、重度腎機能障害、透析中の末期腎不全、eGFR15mL/min/1.73m²以上29mL/min/1.73m²以下

記載場所	使用上の注意
注意レベル	禁止

3. 中等度腎機能障害

記載場所	効能・効果
注意レベル	注意

4. 腎機能障害、体液量減少を起こし易い体質、利尿剤併用、感染症、食事摂取不良、脱水、インスリン分泌能低下、インスリン製剤減量、インスリン製剤中止、過度な糖質摂取制限、尿閉、排尿困難、乏尿、無尿、低血糖又はその恐れ・疑い、脳下垂体機能不全、副腎機能不全、栄養不良状態、飢餓状態、不規則な食事摂取、食事摂取量不足、激しい筋肉運動、過度のアルコール摂取、尿路感染、性器感染、脱水を起こし易い体質、血糖コントロールが極めて不良、中等度腎機能障害、eGFR30mL/min/1.73m²以上59mL/min/1.73m²以下、重度肝機能障害<Child-Pugh分類ClassC>

記載場所	使用上の注意
注意レベル	注意

ルセフィ錠5mgの副作用等

1. 低血糖症状、外陰部壊死性筋膜炎、会陰部壊死性筋膜炎、フルニエ壊疽、敗血症、敗血症性ショック、脳梗塞、血栓・塞栓症、ケトアシドーシス、糖尿病性ケトアシドーシス

記載場所	重大な副作用
頻度	頻度不明

2. 低血糖、低血糖症状、腎盂腎炎、口渇、多尿、頻尿、血圧低下、脱水	記載場所	重大な副作用
	頻度	5%未満
3. 眠気、回転性めまい、悪心、嘔吐、腹部不快感、皮膚そう痒症、蕁麻疹、亀頭包皮 炎、脱力感、空腹、体重減少、血中クレアチニン増加	記載場所	その他の副作用
	頻度	頻度不明
4. 膀胱炎、性器カンジダ症、尿路感染、性器感染、赤血球増加症、体位性めまい、浮 動性めまい、頭痛、低血圧、便秘、下痢、胃食道逆流性疾患、腹痛、腹部膨満、発 疹、湿疹、筋痙縮、頻尿、多尿、陰部そう痒症、口渇、倦怠感、血中ケトン体増加 、尿中 β 2ミクログロブリン増加、尿中白血球陽性、尿中アルブミン陽性、CRP 増加、白血球数増加、ヘマトクリット増加、ヘモグロビン増加、尿中ケトン体陽性 、尿細菌検査陽性、尿中血陽性、尿中蛋白陽性、尿中赤血球陽性、NAG増加	記載場所	その他の副作用
	頻度	5%未満
5. 血清クレアチニン上昇、eGFR低下	記載場所	使用上の注意
	頻度	頻度不明
6. 悪心、嘔吐、食欲減退、腹痛、過度な口渇、倦怠感、呼吸困難、意識障害	記載場所	使用上の注意
	頻度	頻度不明
7. 尿路感染、性器感染、腎盂腎炎、外陰部壊死性筋膜炎、会陰部壊死性筋膜炎、フル ニエ壊疽、敗血症、重篤な感染症、脱水、血圧低下、糖尿病性ケトアシドーシス、 高浸透圧高血糖症候群、脳梗塞、血栓・塞栓症、ケトーシス、ケトアシドーシス、 体重減少、母動物体重低下、骨格変異、骨化遅延、心室中隔膜部欠損、腎盂拡張、 尿細管拡張、副腎褐色細胞腫、精巣間細胞腫、腸間膜リンパ節血管腫瘍	記載場所	使用上の注意
	頻度	頻度不明

ルセフィ錠5mgの相互作用

1. 薬剤名等：利尿剤併用	発現事象	脳梗塞、脱水、血栓・塞栓症、高浸透圧高血糖症候群、糖尿病性ケ トアシドーシス	投与条件	-
	理由・原因	-	指示	注意
2. 薬剤名等：利尿剤併用	発現事象	脱水	投与条件	-
	理由・原因	本剤の利尿作用	指示	注意
3. 薬剤名等：糖尿病用薬	発現事象	低血糖	投与条件	-
	理由・原因	血糖降下作用が増強	指示	注意
4. 薬剤名等：血糖降下作用を増強する薬剤				

発現事象	-	投与条件	-
理由・原因	血糖降下作用が増強	指示	注意

5. 薬剤名等：血糖降下作用を減弱する薬剤

発現事象	-	投与条件	-
理由・原因	血糖降下作用が減弱	指示	注意

6. 薬剤名等：利尿薬

発現事象	-	投与条件	-
理由・原因	利尿作用が増強	指示	注意



薬学をはじめとする専門知識と情報処理技術が実現する高い信頼性と豊富な情報量

医薬品データベースの決定版 『 DIR 』